

事務局報告

第23回日本植生史学会談話会

テーマ：山口県東部における後期更新世（最終氷期）以降の植生史とその情報をもたらした堆積物の堆積場をつくった火山活動、そしてスギ埋没林

趣旨：山口県東部には徳佐盆地、沼原盆地、宇生賀盆地といった盆地群があるが、これらの堆積物は第四紀後期、特に後期更新世（最終氷期）から完新世にかけての植生変遷について多くの情報をもたらした。また、宇生賀盆地では縄文時代以降の埋没林に由来するおびただしいスギ巨木がみられる。このように、本地域はわが国の後期更新世以降の植生変遷史研究にとって重要なフィールドとなっている。ところで、本地域には青野火山群、阿武火山群といった火山があるが、前述の盆地群はこうした火山の活動によって形成された。そこで、今回は宇生賀盆地の堆積物及びこれに埋没していたスギ巨木と、その成因となった火山群やその植生などを見学する。さらに秋吉台の東、美東町の長登銅山跡遺跡を訪ね、古代祭祀にかかわったヒョウタンや木簡などの遺物を見学する。

案内者：辻誠一郎氏（東京大学）・木村勝彦氏（福島大学）・河村吉行氏（山口県史編さん室専門研究員）

場所：山口県中～東部（集合・解散場所は新幹線新山口駅の予定）

日程：5月14日（土）・15日（日）（14日の集合時刻は正午くらい、16日の解散時刻は午後5時くらいを予定）

参加費：宿泊費込み12,000円程度（予定）

定員：先着50名様。参加費や日程、集合場所などの詳細については申し込まれた方に追って連絡いたします。

申込み・問合せ先：下記申込先に氏名、性別、所属、連絡先（住所、電話番号、e-mail）を明記のうえお申し込み下さい。（書式は自由、なるべく郵送かEメールで）

〒241-0823 横浜市旭区善部町46-18 清永丈太
e-mail event@hisbot.jp Tel・Fax 045-363-2317

第20回日本植生史学会大会

第20回大会を2005年12月10・11日（土・日）に京都府立大学において開催します。

シンポジウム：縄文から弥生にかけての近畿の環境史—考古と古植生のデータで「変動期」を考える（仮題）

大会実行委員長：高原光 実行委員：湯本貴和

詳細なスケジュールは確定していませんが、一般研究発表の申込み締め切りは10月末頃の見込みです。

会員動向（2004年10月～12月）

新入会員

植月 学（一般）

山梨県教育委員会博物館準備室

〒400-8502 甲府市丸の内1-6-1 Tel: 055-223-1857

大澤 進（一般）

和光高等学校

（自宅）〒192-0351 八王子市東中野113-1 Tel: 0426-76-3672

金子 陽子（一般）

（自宅）〒373-0006 群馬県太田市成塚町150-491

Tel: 0276-37-0699

田井 知二（一般）

財団法人千葉県文化財センター

（自宅）〒272-0034 千葉県市川市市川1-13-32-403

Tel: 047-324-6353

林 竜馬（学生）

京都府立大学農学研究科森林環境学研究室

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 Tel: 075-703-5683

若松 伸彦（学生）

横浜国立大学大学院環境情報学府

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7 Tel: 045-339-4360

退会会員

鈴木昌友、中嶋雅宏

第4期日本植生史学会役員

（任期：2003年10月1日～2005年度大会）

会長：辻 誠一郎

評議員：百原 新、鈴木三男、植村和彦、西田治文、南木睦彦、山田昌久、高原 光、松下まり子

会計監査：大井信夫

幹事：江口誠一（庶務）、齋木健一（会計）、佐々木由香（広報・渉外）

編集委員会：能城修一（委員長）、紀藤典夫（副委員長）

行事委員会：清永丈太（委員長）、辻 圭子（副委員長）

査読者への謝辞

植生史研究第13巻に投稿された論文等は下記の方々に査読していただきました。記して御礼申し上げます。

五十嵐八枝子	小椋純一	清永丈太	鈴木三男	西田治文	能城修一	米林仲
大井信夫	木村勝彦	杉山真二	高岡貞夫	楡井尊	松下まり子	